

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月28日

上場会社名 JFEコンテナ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5907 URL http://www.jfecon.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小野 定男  
 問合せ先責任者 (役職名)企画部長 (氏名)村上 伸二 (TEL)03(5281)8514  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	13,946	△0.3	1,126	27.0	1,145	33.5	752	△8.2
27年3月期第2四半期	13,994	7.5	887	29.6	858	△2.3	819	46.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 974百万円(197.1%) 27年3月期第2四半期 327百万円(△74.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	26.27	—
27年3月期第2四半期	28.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	34,944	24,220	64.1
27年3月期	35,158	23,401	61.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 22,384百万円 27年3月期 21,633百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年3月期	—	5.00			
28年3月期(予想)			—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,200	△6.4	1,970	△7.2	2,000	△14.5	1,260	△28.4	43.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期2Q	28,675,000株	27年3月期	28,675,000株
28年3月期2Q	35,160株	27年3月期	35,160株
28年3月期2Q	28,639,840株	27年3月期2Q	28,640,740株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①わが国経済および産業用容器業界の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策の継続により企業収益は緩やかな回復基調となりました。しかしながら個人消費の低迷や円安による物価上昇など、依然として企業を取り巻く環境は厳しく、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの事業分野である産業用容器業界におきましては、主要需要家である化学・石油業界は、設備の統廃合や一部停止など国内事業の構造改革を進めております。このような状況の下、全国の200リットル新缶ドラムの当第2四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期比1.2%減の6,541千缶となりました。

## ②当社グループの状況

このような需要環境の下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績につきましては、売上高139億46百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益11億26百万円（同27.0%増）、経常利益11億45百万円（同33.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億52百万円（同8.2%減）となりました。

売上高は、主として国内ドラム缶販売数量の減少及び販売構成の悪化により減収となりました。営業利益及び経常利益では、中国ドラム缶事業の収益改善により増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期の固定資産売却益の影響により減少いたしました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

## 〔ドラム缶事業〕

当第2四半期連結累計期間の当社グループのドラム缶販売数量は、国内2,323千缶（前年同期比5.1%減）、中国2,135千缶（同2.1%増）、合計4,457千缶（同1.8%減）となり、売上高は138億42百万円（同0.4%減）、経常利益は12億43百万円（同30.0%増）となりました。

国内ドラム缶事業は、販売数量の減少と販売構成の悪化により売上高は減収となりましたが、損益は生産性向上や固定費を中心とした工場コストダウンと管理経費の削減等の結果、増益となりました。

中国ドラム缶事業は、当社事業の高品質国際標準ドラム缶がお客様からの高い評価を得た結果、販売数量及び売上高は前年同期に対し増加いたしました。グループ全体のドラム缶販売数量に占める中国の比率は前年同期の46.1%から47.9%に上昇しました。さらに損益につきましても、品質・操業の安定を背景に、能率向上や徹底したコストダウンの推進により、上海・浙江・江蘇の3工場ともに黒字達成、増収増益の決算となりました。

なお、現在中国第4番目の拠点として、内陸部の重慶市にて新工場の建設を推進しており、年内の稼動を予定しております。

## 〔高圧ガス容器事業〕

高圧ガス容器事業は、医療用酸素容器が販売数量を伸ばしましたが、主力である天然ガス自動車用燃料容器の販売が依然として低迷、厳しい収益状況が続きました。当第2四半期連結累計期間の売上高は103百万円（前年同期比12.5%増）、経常損益は73百万円の損失（同期は77百万円の損失）となりました。

天然ガス自動車用燃料容器に関しましては、海外及び国内での天然ガス自動車普及による需要増加に対応すべく活動中で、タイで6月に稼動した天然ガス自動車用容器製造・販売事業につきましては、需要家のアプルーバル取得作業や各種の規格認証取得作業が着々と進行中です。医療用酸素容器につきましては、国内での高齢化と在宅医療の拡大に伴う需要増加を捉えるべく拡販活動を行なった結果、順調に数量を伸ばしております。10月には販売数量の増加に伴い生産能力の向上も行ないました。また、燃料電池自動車に関しましては、いままで蓄積した高圧水素ガス容器関連技術を活用し、自動車用車載容器、水素ガスステーション用蓄圧容器および水素ガス輸送用容器分野での容器開発を強力に進めております。

天然ガス自動車用燃料容器、医療用酸素容器、高圧水素ガス容器それぞれのビジネスチャンスを的確に捉え、早期の

黒字化を目指してまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比2億13百万円減少の349億44百万円となりました。主な要因は国内ドラム缶の販売数量減少に伴う売掛金の減少によるものです。

一方負債の部は、前連結会計年度末比10億32百万円減少の107億24百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少、借入金返済によるものです。

純資産合計は前連結会計年度末比8億19百万円増加の242億20百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内の200リットル新缶ドラムは、鋼材価格ダウンに伴う販売価格の下落を織り込んだこと、また中国ドラム缶事業につきましては、中国国内の景気減速に加え、天津爆発事故による化学品輸送規制や、当局の安全検査に伴う需要家の操業ダウン影響により販売量が減少する見通しで、通期の売上高予想は前回予想の307億円から282億円（前期比6.4%減）に減少する見込みですが、損益は生産性向上や工場コスト削減等によりカバーし、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ・税金費用の計算

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### ・会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,290,912	1,374,951
受取手形及び売掛金	11,556,658	10,756,187
商品及び製品	239,400	214,407
仕掛品	120,256	113,687
原材料及び貯蔵品	1,787,402	1,968,665
繰延税金資産	192,147	192,145
その他	649,355	1,465,471
貸倒引当金	△2,514	△12,230
流動資産合計	16,833,618	16,073,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,197,630	2,149,761
機械装置及び運搬具(純額)	5,840,632	5,834,599
土地	6,482,535	6,482,535
建設仮勘定	636,829	1,268,034
その他(純額)	138,744	127,637
有形固定資産合計	15,296,373	15,862,568
無形固定資産		
その他	564,821	551,141
無形固定資産合計	564,821	551,141
投資その他の資産		
投資有価証券	1,687,315	1,630,919
繰延税金資産	323,910	344,697
退職給付に係る資産	105,995	98,329
その他	263,392	268,218
貸倒引当金	△5,790	△4,120
投資その他の資産合計	2,374,824	2,338,045
固定資産合計	18,236,019	18,751,755
繰延資産		
開業費	88,438	119,810
繰延資産合計	88,438	119,810
資産合計	35,158,075	34,944,852

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,518,584	4,268,476
短期借入金	2,627,716	2,147,646
未払法人税等	555,547	369,496
未払消費税等	208,595	60,018
役員賞与引当金	33,000	16,500
その他	1,184,937	1,358,844
流動負債合計	9,128,381	8,220,983
固定負債		
長期借入金	1,039,346	926,545
繰延税金負債	2,116	5,091
役員退職慰労引当金	103,650	78,750
PCB処理引当金	32,068	32,068
退職給付に係る負債	1,451,127	1,460,337
その他	296	296
固定負債合計	2,628,605	2,503,088
負債合計	11,756,986	10,724,072
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,365,000	2,365,000
資本剰余金	4,649,875	4,649,875
利益剰余金	13,166,920	13,776,140
自己株式	△8,939	△8,939
株主資本合計	20,172,855	20,782,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181,261	125,689
為替換算調整勘定	1,433,923	1,619,240
退職給付に係る調整累計額	△154,685	△142,270
その他の包括利益累計額合計	1,460,499	1,602,659
非支配株主持分	1,767,733	1,836,043
純資産合計	23,401,088	24,220,779
負債純資産合計	35,158,075	34,944,852



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	13,994,545	13,946,050
売上原価	11,015,223	10,551,071
売上総利益	2,979,321	3,394,979
販売費及び一般管理費	2,092,089	2,268,532
営業利益	887,232	1,126,446
営業外収益		
受取利息	4,051	6,902
受取配当金	6,276	7,770
為替差益	13,319	—
受取賃貸料	41,840	41,839
受取保険金	—	45,456
その他	23,679	45,009
営業外収益合計	89,168	146,978
営業外費用		
支払利息	24,132	32,434
固定資産賃貸費用	26,572	24,049
為替差損	—	41,737
その他	67,461	29,606
営業外費用合計	118,165	127,827
経常利益	858,235	1,145,597
特別利益		
固定資産売却益	445,048	—
特別利益合計	445,048	—
税金等調整前四半期純利益	1,303,283	1,145,597
法人税等	484,540	362,590
四半期純利益	818,743	783,006
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△561	30,586
親会社株主に帰属する四半期純利益	819,304	752,419

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	818,743	783,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,836	△43,346
為替換算調整勘定	△525,840	234,325
退職給付に係る調整額	△8,233	12,414
持分法適用会社に対する持分相当額	8,427	△12,225
その他の包括利益合計	△490,811	191,168
四半期包括利益	327,932	974,175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	436,154	894,580
非支配株主に係る四半期包括利益	△108,222	79,595

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,303,283	1,145,597
減価償却費	560,314	575,706
持分法による投資損益(△は益)	17,553	△24,283
固定資産売却損益(△は益)	△445,048	142
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△23,300	32,998
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△8,130	△24,900
受取利息及び受取配当金	△10,328	△14,673
支払利息	24,132	32,434
為替差損益(△は益)	△11,727	39,529
売上債権の増減額(△は増加)	△75,832	859,703
たな卸資産の増減額(△は増加)	△343,666	△139,380
仕入債務の増減額(△は減少)	293,941	△141,887
未払消費税等の増減額(△は減少)	27,612	△148,577
未収入金の増減額(△は増加)	112,083	26,694
その他	8,909	△53,962
小計	1,429,795	2,165,142
利息及び配当金の受取額	20,313	25,906
利息の支払額	△24,567	△44,334
開業費の支払額	△26,573	△34,746
法人税等の還付額	—	29,324
法人税等の支払額	△550,048	△559,770
営業活動によるキャッシュ・フロー	848,919	1,581,520
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△787,199	△791,994
有形固定資産の売却による収入	478,120	29
無形固定資産の取得による支出	△21,984	△744
投資有価証券の取得による支出	△6,392	△5,104
貸付金の回収による収入	976	5,078
敷金及び保証金の差入による支出	△884	△1,122
敷金及び保証金の回収による収入	1,294	1,001
その他	△4,505	△5,913
投資活動によるキャッシュ・フロー	△340,574	△798,769

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△430,000	△502,846
長期借入金の返済による支出	△60,769	△118,686
配当金の支払額	△142,883	△142,567
非支配株主への配当金の支払額	△7,353	△11,285
その他	△672	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△641,678	△775,385
現金及び現金同等物に係る換算差額	△107,895	42,872
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△241,229	50,238
現金及び現金同等物の期首残高	2,171,666	2,336,712
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,930,436	2,386,951

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。